

R02 二小校内研 研究推進だより

No.03
R02.12.7
研究推進委員会

☆今回のポイント☆

◎ 2段階のグループワークで

「広げる」→「深める」をしかける！

テーマ:水を大切に使うために、自分ができること。

必然性のある学習課題にするために 2つの資料を提示
 「地球上の水のうち利用可能な真水の割合」
 「世界の水使用量の変化」
 ☆資料からの気づきが本時のめあてになる。

- ◎導入のテンポ
- ◎効果的な2つの資料
- ◎資料提示の工夫

※思考を広げる
 ◎視点が明確
 =「どこで」「どのような」

GW①:「どこで、どのような工夫ができるだろう。」

GW②:(3Rで分類すると節水アイデアは多いが再利用のアイデアは少ない)
 →「さらに、工夫できることがないか考えよう。」

※思考を深める
 △新しい視点の提示
 =教科書から「3R」

2回目の発問が「深める」ためのポイントになる！

ツールとして

GWか？個人か？…GWの時間の壁。有効なのは「ひとり学び」

立ち止まり
切り返し

焦点化
ジグソー法

データ・資料

などなど

※単元設計の中で、各授業での資料を「考える」場面に活用する。

さらなる工夫・改善ポイント

- ☆資料の出典(メディアリテラシー)
- ☆資料提示等ICT活用
- ☆最後の活動「宣言書」への見通し

- ☆GWの役割分担を意図的に
- ①ブレインストーミングとして
- ②意見調整のために
- ③問題解決の一環として
- ④情報収集のために
(ジグソー法など)

- ☆ICTの活用
- ・宣言の共有 ・資料配布
- ・相互交流 ・意見集約
- ・ジグソー法 ・KJ法(ポストイット)等

- 学びをつなげることで深める！
1資料の中で読み取りをつなげる。
複数の資料をつなげる。
- 考えをつなげることで深める！
座標軸での整理など

本年度最後の研究授業が終わりました。東穂先生、4年生の先生方をはじめ中学年ブロックの先生方には指導案検討会から積極的に意見交流していただき有意義でした。社会科は授業研究の機会が少ないため悩むことも多かったと思いますが、子どもたちにつけたい力についてしっかりとした授業者の思いが込められた提案性のある授業でした。

全員で「共有」し、「だれでも」できること、共通認識にしていくことを提案していきます。

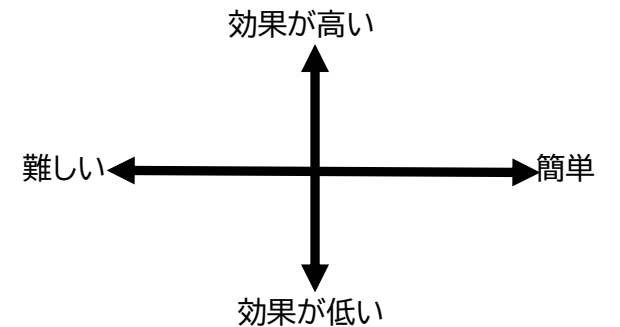
◎ 座標軸の活用

「深める」ための
ツールとして

この授業では、3段階目の思考場面だった。

座標軸による比較・分類→評価

※視点や観点を持ち、根拠に基づいて意見を持つ。



今回の軸は「水の量」と「回数」

→ 判断基準が曖昧だった。

数量的な判断基準等があればよかった。

※単元の中で判断基準となるデータ・資料等を扱い、効果的に繰り返して活用できると良い。

「自分事」として考える = 宣言書

自己内対話へ戻すことで考えを深める。

「ふりかえり」の時間の優先順位を上げる！ ⇒ 次時の授業の「問い」へ

